

これがオススメ! 読み聞かせ本

中学生

指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさん
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さ
て実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読
んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせが
できるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

秋田の国の大きな八郎はも
っともつと大きくなって、み
んなの田んぼを海から守り、
波に沈んでいった。だから今
も八郎潟は波が静かなんだ。
そんな話をスケールの大きな
民話風の語り口にした絵本で
す。滝平二郎の切り絵も印象
的です。自分自身が秋田出身
ということもあり、何度も子
どもたちに読んできました。
波と八郎が押しつ押されつ
を繰り返す場面では、子ども
たちも自分が八郎になったよ
うに歯を食いしばって見てい
ます。結末は知っているのに
どうなるんだろうという表情
です。

この『八郎』を全部覚えて
「語り」にしたこともありま
す。最後に「どこかで、おっ
きくなって、おつきくなって
いるべもの」と話を終えたど
き、子どもと自分が一緒に八
郎の世界にいたんだなあと思
いました。
そうそう、このお話を語っ
たときは、綿入りはんてんを
着て、語りのおじさんという
雰囲気を出してやってみまし
た。言葉や言い回しが少し難
しいので練習が必要ですが、
ぜひ子どもたちに読んであげ
たい一冊です。



『八郎』

森藤隆介 / 作 滝平二郎 / 画
(福音館書店)